

第5回モーターボート競走事業活性化検討委員会議事概要

1. 日時

平成18年5月29日（月） 15：30～17：30

2. 場所

国土交通省4F特別会議室

3. 出席者

蔭山委員、喜多條委員、境委員、笹川委員、杉山委員、竹内委員、松田（公）委員、松原委員、廻委員、柳澤委員、星野海事局長（以上五十音順）

4. 議事

（1）笹川委員からの報告

（2）関係者の効果的な役割分担と費用負担のあり方について

5. 議事概要

初めに、笹川委員より競艇事業の活性化について報告があった後、報告に対する質疑応答を行った。その後、事務局より「業界発展のために今後取組が必要な対策」について説明を行った。委員会が出された主な意見は次のとおり。

- 事業運営全般の包括的な民間委託と企業会計は、今後の経営改善のために導入すべき。特に企業会計の導入は、損益を明確にし、経営の緊張感を持たせることとなる。
- 猶予制度の導入に際しては、客観的で厳格な基準を設定することが必要。
- 各場間のサービスや経営努力に関する競争を促進するような制度を取り入れるべきではないか。
- 民間委託の前に、現在の場の運営の非効率を何とかすることも必要。また、本場の活性化をどう支援していくかということをもっと検討すべき。
- 本検討委員会の結論としては、今後の業界組織のあり方について大きな方向性を示すことが必要ではないか。